

2026年3月26日

各 位

フィンテック グローバル株式会社
代表取締役社長 玉 井 信 光
(コード番号：8789 東証スタンダード市場)
問合せ先：取締役副社長 上席執行役員 千田 高
電話番号：(03) 6456-4600

子会社の異動（株式譲渡）並びに特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社が保有する子会社の株式会社ムーミン物語（以下、「ムーミン物語」という）株式の一部について、会社法第155条第13号及び会社法施行規則第27条第1号に基づくムーミン物語の自己株式取得によって同社に無償譲渡すること、及び当社保有のムーミン物語株式の一部をMoomin Characters Oy Ltd及びR&B Licensing AB（以下、2社を「ライセンサーグループ」という）に無償譲渡することを決議し、本日付で株式譲渡契約を締結し、株式の譲渡が完了いたしました。

また、当社の連結子会社メツァ2号投資事業有限責任組合（以下、「メツァ2号」という）は、本日、保有するムーミン物語全株式について、ムーミン物語の自己株式取得によって同社に無償譲渡することを決定し、本日付で株式譲渡契約を締結し、株式の譲渡が完了いたしました。

これらにより、ムーミン物語に対する当社及びメツァ2号の議決権所有割合は84.64%から14.98%となり、ムーミン物語及び同社子会社でムーミンバレーパークの不動産を保有する特別目的会社である飯能地域資源利活用合同会社が当社の連結の範囲から除外されることなどにより、当社は特別利益及び特別損失を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本取引の理由

当社は、埼玉県飯能市においてムーミン物語が運営する「ムーミンバレーパーク」の開発パートナーとして、またスポンサーとして、立ち上げ及び運営基盤の構築を主導してまいりました。同パークは、開業後コロナ禍に見舞われたものの、一定期間が経過し、施設の充実化や各種プロモーションにより、来園者数は徐々に回復し営業利益も回復基調となっております。当社としては、ムーミンバレーパークが今後も持続的に成長していくためには、当社主導のフェーズから、地元企業や自治体等とより深く連携し、地域

一体となって運営するフェーズへ移行することが最適であると判断いたしました。

このため当社及びメツァ 2 号が保有するムーミン物語の株式 17,651 株のうち、16,969 株をムーミン物語が自己株式として無償取得するとともに、100 株をライセンサーグループに無償譲渡することにより、当社は 582 株（議決権所有割合 14.98%）を継続保有することとしました。本件により、ムーミン物語及び飯能地域資源利活用合同会社は当社の連結の範囲から除外され、地域に根差した自立した運営・資産保有会社として新たなスタートを切ることとなります。

当社としては、ムーミンバレーパークに係る資産・負債がオフバランスされることで資産効率が高まり、有形固定資産等に対する減損リスクが低減されます。また有利子負債の減少により、成長戦略実行を加速するための借入余力が創出され、株主価値向上への貢献が期待されます。

ムーミン物語株式の無償譲渡については、独立した第三者評価機関による株式価値算定の結果を踏まえたものであること、及びムーミン物語以外の株式譲渡先がムーミンテーマパーク運営に関するライセンサーであることから、ムーミンバレーパークの持続的成長に向けた協力関係が強化されることを総合的に考え、合理的であると判断しております。

資本関係の変更後も、当社はムーミン物語の筆頭株主として他の株主と連携し、また隣接する当社保有の「メツァビレッジ」の運営を通じて、ムーミンバレーパークとの相互送客やエリア全体の活性化に向けたマーケティング面での連携を継続してまいります。このため、ムーミン物語の企業価値とメツァビレッジの価値向上の実現を図ってまいります。

なお当社は、メツァビレッジの価値向上を図り不動産を流動化する方針を掲げておりますが、その方針に変更はありません。

2. 異動する子会社の概要

(1) 商号	株式会社ムーミン物語		
(2) 所在地	埼玉県飯能市大字宮沢 327 番 6		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 望月 潔		
(4) 事業内容	テーマパーク事業		
(5) 資本金	50 百万円		
(6) 設立年月日	2013 年 11 月 11 日		
(7) 大株主及び持株比率	フィンテック グローバル株式会社 81.91% メッツァ 2 号投資事業有限責任組合 2.73%		
(8) 当社と当該会社との間の関係	資本関係	「(7)大株主及び持株比率」に記載のとおりです。なお、メッツァ 2 号投資事業有限責任組合に当社は有限責任組合員として 99.9%出資しております。	
	人的関係	当社から取締役を 3 名派遣しております。	
	取引関係	当社は当該会社にテーマパーク事業の協賛金及び当社株主優待の業務委託手数料を支払っています。 当社は当該会社に不動産等を賃貸しております。 当該会社は当社に経営指導料を支払っています。	
(9) 当該会社の最近 3 年間の財政状態及び経営成績			
決算期	2023 年 3 月期 (自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日)	2024 年 3 月期 (自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日)	2025 年 3 月期 (自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日)
純資産	△974 百万円	17 百万円	△334 百万円
総資産	7,016 百万円	6,688 百万円	6,065 百万円
1 株当たり純資産	△142,163 円	857 円	△16,037 円
売上高	2,420 百万円	2,218 百万円	2,593 百万円
営業利益又は営業損失	△309 百万円	△368 百万円	38 百万円
経常損失	△525 百万円	△375 百万円	△6 百万円
当期純利益	△546 百万円	292 百万円	△352 百万円
1 株当たり当期純利益又は 1 株当たり当期純損失	△79,722 円	18,546 円	△16,894 円

(1) 商号	飯能地域資源利活用合同会社		
(2) 所在地	埼玉県飯能市大字宮沢 327 番 6		
(3) 代表者の役職・氏名	代表社員 一般社団法人飯能地域資源利活用 職務執行者 荒川 和也		
(4) 事業内容	1. 不動産の取得、保有及び処分 2. 不動産の賃貸及び管理 3. 不動産特定共同事業法に基づく特例事業 4. 前各号に掲げる事業に付帯又は関連する事項		
(5) 出資の額	7.5 億円(匿名組合出資契約に基づく出資の金額です。)		
(6) 出資者	株式会社ムーミン物語 4.2 億円 飯能市ほか企業 5 社 3.3 億円		
(7) 設立年月日	2017 年 5 月 17 日		
(8) 大株主	該当事項はありません。		
(9) 当社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	当社は当該会社から資金を借り入れております。 (注) 2 当社子会社のフィンテックアセットマネジメント株式会社は、当該会社と不動産特定共同事業契約を締結しております。	
(10) 当該会社の最近 3 年間の財政状態及び経営成績			
決算期	2023 年 6 月期 (自 2022 年 7 月 1 日 至 2023 年 6 月 30 日)	2024 年 6 月期 (自 2023 年 7 月 1 日 至 2024 年 6 月 30 日)	2025 年 6 月期 (自 2024 年 7 月 1 日 至 2025 年 6 月 30 日)
純資産	△1,063 百万円	△1,063 百万円	△1,063 百万円
総資産	6,333 百万円	6,102 百万円	5,932 百万円
売上高	450 百万円	246 百万円	246 百万円
営業利益	196 百万円	1 百万円	25 百万円
経常損失	△989 百万円	△113 百万円	△74 百万円
当期純利益又は当期純損失	△1,063 百万円	0 百万円	0 百万円

(注) 1. 当社は、飯能地域資源利活用合同会社を連結財務諸表に関する会計基準等における支配力基準で子会社としております。

2. 当該借入は、当社が2017年7月飯能地域資源利活用合同会社にムーミンバレーパークの不動産を譲渡した際に、当社の子会社に該当する特別目的会社を譲受人とした譲渡であったため、当該取引を金融取引として会計処理したことにより発生したものです。今般、飯能地域資源利活用合同会社が子会社でなくなったことにより、当該不動産譲渡は売却処理されるため、当該借入は当社連結及び個別財務諸表上、計上されなくなる見込みであります。

3. 株式譲渡の相手先の概要

(1) 商号	Moomin Characters Oy Ltd	
(2) 所在地	Salmisaarenranta 7M, 00180 Helsinki, Finland	
(3) 代表者の役職・氏名	CEO ロレフ・クラクストローム	
(4) 事業内容	ムーミンの著作権管理	
(5) 設立年	1977年	
(6) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。なお、当該会社はムーミン物語に一部出資しています。
	人的関係	該当事項はありません。なお、当該会社のCEO ロレフ・クラクストロームは、ムーミン物語の取締役会長であります。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(注) 資本金、純資産、総資産、大株主及び持株比率については、先方意向により非開示とさせていただきます。

(1) 商号	R&B Licensing AB	
(2) 所在地	Rosenlundsgatan 31, 118 63 Stockholm, Sweden	
(3) 代表者の役職・氏名	CEO ロレフ・クラクストローム	
(4) 事業内容	ムーミン等のキャラクターのライセンス管理	
(5) 設立年	1938年	
(6) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。なお、当該会社はムーミン物語に一部出資しています。
	人的関係	該当事項はありません。なお、当該会社のCEO ロレフ・クラクストロームは、ムーミン物語の取締役会長であります。
	取引関係	該当事項はありません。なお、当該会社はムーミン物語に日本国内におけるムーミンテーマパーク運営に関するライセンスを供与しております。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(注) 資本金、純資産、総資産、大株主及び持株比率については、先方意向により非開示とさせていただきます。

4. 譲渡株式数及び譲渡価額の概要

譲渡先	譲渡株式数	譲渡価額
Moomin Characters Oy Ltd	50 株	0 円
R&B Licensing AB	50 株	0 円
合計	100 株	0 円

5. ムーミン物語による自己株式取得の概要

取得先	取得株式数	取得価額
フィンテック グローバル株式会社	16,399 株	0 円
メツァ 2 号投資事業有限責任組合	570 株	0 円
合計	16,969 株	0 円

6. 異動前後の所有株式数、議決権の数及び議決権所有割合の概要

	異動前	異動後
所有株式数		
当社	17,081 株	582 株
メツァ 2 号	570 株	—
議決権の数		
当社	17,081 個	582 個
メツァ 2 号	570 個	—
議決権所有割合		
当社	81.91%	14.98%
メツァ 2 号	2.73%	—

7. 日 程

- (1) 当社取締役会決議、株式譲渡契約締結 2026 年 3 月 26 日
 ムーミン物語取締役会決議、株式譲渡契約締結
 メツァ 2 号の機関決定、株式譲渡契約締結
- (2) 株式譲渡（ムーミン物語の自己株式取得を含む）の実施 2026 年 3 月 26 日

8. 特別利益及び特別損失の概要、並びに業績等に与える影響

本株式譲渡による 2026 年 9 月期の連結業績に与える影響は、精査中につき未定であり、判明次第お知らせいたしますが、想定する主な影響は、以下のとおりです。

- (1) 連結除外となる子会社の業績が、2026 年 9 月期第 3 四半期から連結業績に取り込まれなくなります。
- (2) 当社は、2017 年 7 月、飯能地域資源利活用合同会社にムーミンバレーパークの不動産を譲渡（譲渡額 2,000 百万円、簿価 443 百万円）していますが、当社の子会社に

該当する特別目的会社を譲受人とする譲渡であったため、当該取引を金融取引として会計処理しました。今般、飯能地域資源利活用合同会社の子会社でなくなったため、当該不動産譲渡について売却処理を行い、譲渡益を認識することにより、連結及び個別決算で特別利益 15 億円程度を計上する見込みです。

(3) 本株式譲渡により連結決算で特別損失に関係会社株式売却損を 5～6 億円計上する見込みです。

(4) ムーミン物語及び飯能地域資源利活用合同会社を含む当社グループ間で発生した取引の解消や見直しなどにより、損益が発生する可能性があります。

なお、連結貸借対照表への主な影響について、2025 年 12 月末の連結貸借対照表を基に試算すると以下の通りとなります。

・有形固定資産の減少

2025 年 12 月末のムーミンバレーパークの有形固定資産 44 億円（連結総資産の 15%）がオフバランスされます。

・有利子負債の減少

2025 年 12 月末の有利子負債 139 億円のうち 56 億円がオフバランスされ、82 億円となります。

・利益剰余金の増減

上記(2)～(4)による親会社株主に帰属する当期純損益によって、利益剰余金が増減する可能性があります。

9. 今後の当社の「メッツァ」への関わり方について

「メッツァ」は、当社が所有・運営する「メッツァビレッジ」と、ムーミン物語が運営する「ムーミンバレーパーク」の 2 つから構成される施設の総称です。

本件により、当社によるムーミン物語の持分比率は 15%未満となり、同社は当社の連結子会社に該当しなくなります。しかしながら、当社は引き続き筆頭株主であり、本業であるプライベート・エクイティ事業の一環として、同社の企業価値向上に強力にコミットしてまいります。

当社は今後、地域プロジェクトのアレンジャー及びスポンサーとしての本来の強みを発揮し、優良な開発パートナー企業と協働しながら、当社が主導してメッツァ全体のハード・ソフト両面での大規模なバリューアップを実行いたします。

【ハード面での大規模開発の推進】

メッツァビレッジでは、10 数億円規模の設備投資を伴う、北欧をコンセプトにした宿泊・温浴施設等の追加開発を推進し、2027 年中の開業を目指します。加えて、当社

は2026年1月、メッツァビレッジに隣接する不動産を取得したことから、当該地も含め、エリア一体でのバリューアップ施策を検討しております。

メッツァビレッジ施設概要

敷地面積	16.3万㎡ (ムーミンバレーパーク7.3万㎡と宮沢湖の水面部分は含まず。)
施設所有者	フィンテック グローバル株式会社
投資残高	40.9億円(2025年12月末の販売用不動産の帳簿価格)
建物延床面積 (合計)	4,339㎡ (中核施設であるマーケットホール・ヴァイキングホールと、ハイパーミュージアム飯能・小型店舗等の延床面積の合計。立体駐車場は含まず。)
駐車場収容台数	平面と自走式2層3段の合計：約1,000台

【ソフト面の強化】

体験価値の更なる創出

メッツァビレッジでは、北欧文化を軸にした季節イベントをはじめとして、愛犬家や家族連れ、アート・グルメを愛する方々など、多様な来場者ニーズに応える催しを幅広く実施しています。今後も、北欧各国の大使館等の協力も得ながら開催する北欧花火や夏至祭、聖歌隊コーラスなどを通じて北欧文化に触れつつ、自然・地域連携・チャリティーを織り交ぜた、森と湖のロケーションならではの特別な体験価値の更なる創出を進めて参ります。

デジタルマーケティング基盤強化

当社が主導してデジタルマーケティング基盤の強化を図ります。現在約16万人の「メッツァ公式LINE」の会員基盤をさらに拡大・活用していくとともに、メッツァや埼玉県 naturally、北欧のライフスタイルを発信するサウンドメディア「metsä media (メッツァメディア)」の運営を強力に推進いたします。多面的な切り口でメッツァ全体の魅力を再発見し発信することにより、メッツァのファンコミュニティを拡大し、ブランド価値の向上と両施設間の相互送客を促進いたします。

以上のとおり、ムーミン物語が「地域主導の自立したムーミンバレーパーク運営」に専念する一方で、当社は筆頭株主の立場から、アレンジャーとしての金融・プロジェクト推進ノウハウを最大限に活用し、「メッツァ全体の大規模開発とデジタルマーケティング主導による資産価値向上」に注力するという明確な役割分担のもと、メッツァ全体のブランド価値及び集客力の最大化を図ってまいります。

※本資料に記載の計画・見通しは現時点のものであり、今後変更となる可能性があります。

以上